

5/11
(火)

罹災証明書発行の円滑化に一役 損害調査結果提供で協定を締結

伊達市役所

ceremony

この協定は、水害時に三井住友海上火災保険(株)で調査した住宅の損害に関する情報を、住民の同意に基づき伊達市に提供するものです。これにより、市は罹災証明書の発行に必要な家屋調査を簡略化できるなどの利点があります。須田市長は「迅速な災害復旧につながる」と期待している。」と述べました。三井住



友海上火災保険(株)福島支店の松井洋介支店長は「県内初の締結。協力してさまざまな面で役に立ちたい。」と話しました。

5/13
(金)

「地域で共に学び共に生きる」 だて支援学校の開校式開催

だて支援学校

ceremony

だて支援学校は今年4月に開校し、小学部・中学部・高等部合わせて29学級、88人の児童生徒が学んでいます。開校式には内堀知事や須田市長が出席。須田市長は「社会の一員として、たくましく成長されることを期待しています。」と祝辞を述べました。高等部の遠藤雅実さん、中学部の菅野晋平さん、小学部の佐藤ルキア



さんが誓いの言葉を発表し、「先輩も後輩も仲良く協力し、地域に感謝し、笑顔が絶えない楽しい学校を築きます。」と誓いました。

4/22
(金)

グループ補助金など災害復旧に 関する補助対象の拡大等を要望

福島県庁

request

須田市長は、3月16日の福島県沖地震で市内の商工業者や医療機関などが甚大な被害を受けた現状を井出副知事に訴えました。被災した中小企業の事業再開や継続を支援する「グループ補助金」について、陳列されていた商品や原材料なども補助対象経費に含めることを要望。また、社会福祉や医療、教育などさまざまな分野で、



既存の補助制度では対象にならない費用があることから、補助対象拡大や新制度創設を国に要望するよう求めました。

4/25
(月)

市議会議員に選出された 22人に当選証書交付

伊達市役所

ceremony

伊達市議会議員一般選挙当選証書付与式が行われ、伊達市選挙管理委員会の佐藤健治郎委員長から新議員22人に当選証書が手渡されました。佐藤委員長は「市民の負託に応え、伊達市の発展と安心して暮らせるまちのためご尽力ください。」とあいさつしました。須田市長は「多くの市民から信任を受け、市民



の代表としてご活躍されることを期待します。」と祝辞を述べました。任期は令和4年5月1日から4年間です。